

クラパー兄さんで行く!

金工教室

今回は、金工教室を
紹介します!

金属を様々な技法で加工して、作品をつくる金工教室。
『工芸品コース』と『装飾品コース』の2つのコースを
実際の作業工程をメインに紹介します。



■工芸品コース

銅・真鍮・銀・錫などの金属素材を使い、課題ごとに鍛金や彫金などの技法を学びながら、食器や鍋、カトラリーなどの日常生活で使えるものから、小箱や花器、オブジェなど飾って楽しめるものまで、様々な作品をつくることができます。



錫の鍛金 ~ちょっと作業を見てみよう~

溶かした金属はお玉で
すくえるんですね!



① 溶かした錫を、紙の型に流し込む。



② 型から取り出し、ハサミで余分な部分を切り取る。



③ 木皿で内側から叩き込み、軽くお皿の形にする。



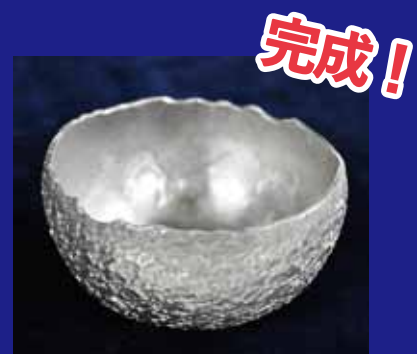
④ 当金を使い、形を木槌で繰り返し叩き加工していく。



⑤ 形ができたら、表面を金鋸で叩きしめる。



⑥ ヤスリや磨きペラで口の部分を整える。



完成!

板状の金属を何度も叩くことで、器の形にしていく鍛金の技法。
ガンガン叩いて作品をつくってみたい方は、ぜひ工芸品コースへ!!

※『錫の鍛金』は基礎クラスで学べます。

■装飾品コース

研磨や接合、糸鋸を使っての切断など基礎的な技術を学びながら、主に銀の板や線を使い、指輪やペンダントなどの様々なアイテムをつくります。課題が進むごとに、より難易度の高い技法や技術を習得し、自身好みのアクセサリをつくることができます。



石の覆輪留め ~ちょっと作業を見てみよう~



① 石に合わせて、純銀の板で枠をつくる。



② 石が落ちないように、枠に底板を接合する。



③ 銀板の余分な部分を糸鋸でカットする。



④ 準備しておいたリングと接合する。



⑤ 金属部分を磨き上げたら、台に固定して、石の形に合わせて銀板を倒していく。



⑥ 凹凸がなくなるように金属部分を削ったら、磨きペラで磨く。



完成!

デザインも素材も、一から考えてつくるアクセサリ。
すべてオリジナルでつくってみたい方は、ぜひ装飾品コースへ!!

※『石の覆輪留め』は本科Iクラスで学べます。

なかなか見る機会のない金工の作業工程はいかがでしたでしょうか?
より強く『つくってみたい!』と感じたコースで、作品づくりに挑戦してみてください!

